

# 【受賞報告】 第49回 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会にて、医学研究科整形外科学講座助教の大鹿周佐が、優秀ポスター賞を受賞しました



**治療3** 人工補綴材を用いたnon-rigidな胸壁再建を行った骨・軟部肉腫の治療成績

1-P1-PS  
3-2

大鹿 周佐<sup>1</sup>, 菅澤 遥輝<sup>2</sup>, 対馬 敬夫<sup>2</sup>, 嵯峨 寛<sup>3</sup>, 石橋 越之<sup>1</sup>

1. 高崎大学大学院医学研究科整形外科科学教室  
2. 高崎大学大学院医学研究科腫瘍内科科学講座  
3. 独立行政法人国立病院機構弘前病院整形外科

**背景**  
悪性腫瘍切除後の胸壁再建術  
● non-rigidな再建 (人工メッシュ, 筋皮弁など)  
● rigidな再建 (プレートやメタルメタリレートなど)  
選択は、欠損の大きさや患者の病歴により決定

**目的**  
胸壁切除後に生じた骨性胸壁欠損に対するnon-rigidな再建の治療成績を報告すること

**対象と方法**  
□ 1989~2015年の間に、骨性胸壁の切除後に人工補綴材を用いたnon-rigidな再建を行った胸壁17例を後ろ向きに検討  
● 性別 男性10例 女性7例  
● 中心臓器 8例 (心臓3例)  
● 病期 Ⅰ期 11例 Ⅱ期 4例 (Ⅱb期1例)  
● 臓器再建 2例 Ewing肉腫 1例 肺腺癌 1例  
● 欠損部位 Ⅰ期 (Ⅱa期1例, 胸骨2例, 肋骨1例) Ⅱ期 2例 (Ⅱb期1例, 肋骨1例)  
● 再建した人工補綴材 aPTFE mesh 12例 Mesh mesh 5例

**①術後合併症**  
②生存期間に影響する予後因子  
③生存期間に影響する予後因子  
④術後合併症

**結果**  
①術後合併症  
②生存期間に影響する予後因子  
③生存期間に影響する予後因子  
④術後合併症

**考察**  
胸壁再建術後の合併症  
生存期間に影響する予後因子  
術後合併症

**結論**  
人工補綴材を用いたnon-rigidな胸壁再建は胸壁切除後の骨性胸壁欠損に対する有効な手術法と考えられた。